

編集後記

23号をお送りします。

村岡倫さんを代表者とする科研が3月で完了いたしました。本誌は、森田が研究代表者である科学研究費Cの成果報告誌として、継続して参りたいと思いますので、これからもご支援のほどお願い申し上げます。

今号は、森田の新着目録とともに、長い間モンゴル国エルデニズーでの石碑調査にたずさわってこられた松田孝一氏の報告を掲載させていただきます。森田は現地調査に参加しておりませんが、調査メンバーのもたらされた拓本を「読む」ことは私どもの研究会の大事な仕事です。その成果を本誌にお寄せいただけたことに、感謝いたしております。

本誌は森田の科研の成果の公表誌ですが、今回のように、ともに研究を進めてきた方々、とくに若手中堅の研究者の発表の場としても紙面を提供いたしたいと存じます。さいわいなことに、フットワークの軽い雑誌ですのでお役にたててればさいわいです。なお、過去の号を見ていただければわかりますように、本誌では外国語の論考についても、版下さえ執筆者でご用意いただけるのであればご相談に応じております。

本誌についてのご連絡は森田までお願いいたします。

(もりた けんじ)

13、14世紀東アジア史料通信 第23号

2014年10月発行

編集 森田憲司

発行者

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究C

「元朝石刻拓影の目録化を通じての中国近世石刻目録
学構築の試み」 (代表 森田憲司)

連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町1500

奈良大学文学部史学科 森田研究室